



海街農家暮らし

西予市明浜地区柑橘農業就農支援ハンドブック

海を見ながらの
農業体験しませんか？



小さな海辺の街で 農業をはじめませんか？



明浜には、急峻な地形から「3つの太陽」があります。

空からの太陽、海から反射する太陽、段々畑の石垣から反射する太陽…

温暖な気候に恵まれ、太陽の光と潮風をたっぷり受けて育つため、
コクと酸味のバランスが良く、おいしい柑橘がとれると全国的にも有名です。



私たちが海街農家になつた理由

自然も人も心地よい
明浜で柑橘とともに生きていく。

ぼちぼち農園

菅谷秀さん・卯雪さん(ともに23歳)

茨城県出身の菅谷秀さんは、農業高校卒業後に農事組合法人の研修生として西予市明浜町へやって来た。実は、研修先の設立者の一人・斎藤達文さんは高校の友人のお父さん。柑橘栽培に興味があつたことから、誘われるままにこの地へ。研修は2年間、斎藤さんらべテランたちに柑橘栽培の基礎をみつりと教えられた。やがて研修の終盤に差し掛かり、農業を引退する人がおり、果樹園地を貸してもらえる話が出たことにも背中を押された。

独立した年、高校の同級生だった卯雪さんと結婚。夫婦で力を

farming chart 就農チャート

2018年 愛農学園農業高等学校卒業、高校の同級生の紹介で農事組合法人無茶々園の研修生となる(農林水産省 農業次世代人材投資資金 就農準備資金活用)
2020年 独立し、「ぼちぼち農園」を立ち上げる(農林水産省 農業次世代人材投資資金 経営開始資金活用)、卯雪さんと結婚
2021年 長男誕生
2023年 第2子誕生予定

合わせて、化学肥料は使わず、化學農薬の使用は最低限に抑え、約1.5haの園地を管理。栽培品種も徐々に増やして、現在は10品種の栽培に取り組んでいる。「公的な助成制度を活用することで知らない土地で、しかもこの若さでも思い切ってチャレンジできました」。農作業だけではなく、慣れない子育てでは、ご近所さんに手助けされることも多い。「自然豊か、人情も豊かなこの町は、かけがえのない故郷です」。

「明浜」ってこんなところ

愛媛県西南部は「南予」と呼ばれ、そのなかに明浜町はあります。四国西予ジオパークの一部であり、国の重要文化的景観にも認定された風光明媚な地域。美しい宇和海に面し、気候は温暖で、人情に厚くあたたかい人が多い土地柄です。

そして明浜町は全国有数の柑橘栽培好適地。急峻な山が迫る土地に、先人たちは園地を確保するため段々畑をつくりました。支援策も充実しており、農業は初めてという人にも挑戦しやすい土壤があります。また魚種の豊富な宇和海では水産業も盛ん。釣りはもちろん、海水浴やシーカヤック、キャンプなどレジャーを楽しむ人の姿も多く見られます。

【数字で見る明浜町】

明浜町の面積 約 25.98 km²
そのうち柑橘園地 約 3.28 km²
平均気温 15.4 °C

【栽培している柑橘の種類】

温州みかん、不知火(デコポン)、いよかん、愛果28号、ポンカン、はるみ、せとか、甘平etc.

まさに柑橘王国！
一年中何でも育つ！



西予市初の無加温ハウス栽培で、全国のファンを獲得。



松本修一さん(51歳)・琴美さん(48歳)

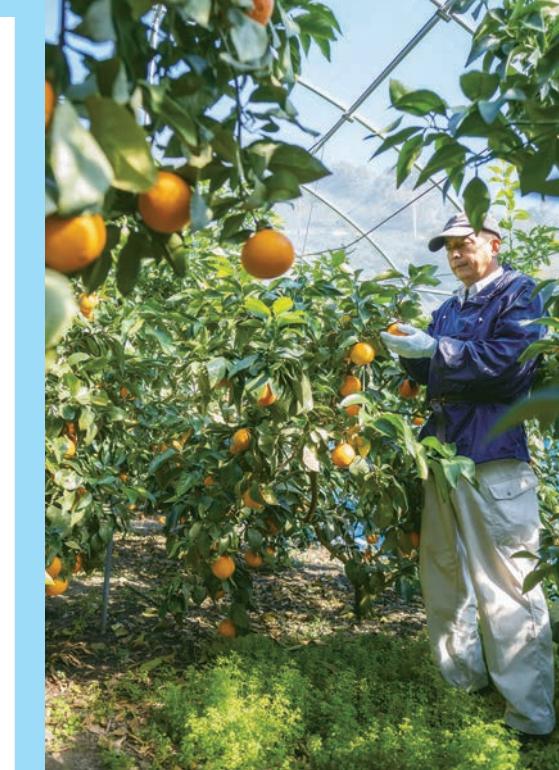
松本修一さんの生家は明浜町で5代にわたり農業に従事しており、祖父母の代から柑橘栽培を行っている。現在、妻の琴美さんとともに約2.3haの園地を管理し、近年は無加温ハウス栽培の一浜のみんなや甘平などの高級品種が人気だという。「おかげさまで柑橘が足りないくらいの注文を

いただいています」と話す松本さんは大きな転機となつたのは、15年前。生産だけではなく、販売も自園で行うことを決意した。「先祖代々受け継いできたうちの園地は、日照や水はけなどの条件に恵まれ、質の良い柑橘ができる。それらを自分の名前で販売したい。その思いからの決断でし

た」と振り返る。当初は販路開拓に苦労したが、日本政策金融公庫が主催するアグリフェードEXPOなどの展示商談会に積極的に参加。試食をしてもらうと、「取り扱いたい」と取引先が増えていった。今では贈答などで口にしたりピーターからの直接注文がほとんどで、収穫前に完売となることが増えていく。フレッシュな果実だけではなく、1kgに約20個分の温州みかんを絞ったジュースも、飛ぶような売れ行きだ。

順風満帆のようだが、西予市で最初に無加温ハウス栽培に踏み切る際には迷いもあった。「施設整備への支援で費用の3分の1の助成があり、踏み切ることができました」と話す。これからも先祖から受け継いだ園地を守り続ける松本さんだ。

※温度を無理に加えず、ハウス施設の温度だけで栽培する方法



・明浜の就農環境ジャーナル・

Akehama agricultural environment journal

就農移住した人たちの暮らし

明浜町に就農移住した人たちが口をそろえて話すのが「人の良さ」について。見ず知らずの土地にやってきた自分たちをあたたかく受け止めてくれ、柑橘栽培や経営についてはもちろんのこと、衣食住のあれこれ、地域の人たちとの交流なども、何か毎に気をかけてくれたことがありがたかったそうです。想像以上に一変した生活に戸惑いを感じたことも、そのほとんどがいい意味での戸惑いだったという声が多く聞かれました。

美しい海の景色に癒されながら、自分の手で柑橘が育っていくことに喜びを感じ、太陽のリズム、四季のリズム、自然に合わせて園地で働く。休みの日は少し足を伸ばして街に遊びに行ったり、子どもと一緒に魚釣りをしたり、地域のサークルに参加したり。オンとオフをメリハリつけて過ごしている人が多いのも特徴です。



家族のお城「住環境」

空き家を活用した賃貸物件・売り物件があります。西予市が運営する移住定住サイト「海里山憧れ暮らし」には、移住に関するさまざまな情報とともに、買う・借りる等の空き家物件が紹介されています。数百万円で庭付き一戸建てを手に入れることも夢ではありません。



明浜には柑橘農家を支援する2つの団体・企業がある

就農支援に取り組む
「JAひがしうわ」

JAひがしうわでは、将来の農業を見据え、「担い手を育て、生命(いのち)を育む産地づくりのもと

①地域農業をリードする「人づくり」「組織づくり」

②自足性のある農業生産システムの再構築

③力強い販売戦略の展開

を基本コンセプトとし、またさらなる地域サポートとして

④地域別振興(展開)対策

の展開を目指しています。

就農支援として各営農センターに営農指導員を配置。農業経営や技術指導を行うとともに、各種

補助事業の相談窓口や農地利用などについても相談を受け付けています。

持続可能な農業を目指す
**むちゃちゃんえん
「無茶々園」**

約50年前から柑橘の有機栽培に取り組んでいる無茶々園が目指すのは、**環境保全型の農業**。明浜の農家が集まってつくった組織を母体として、柑橘の生産から加工・販売までを総合的に行ってます。身のまわりの環境だけではなく、「広く地球環境や社会に貢献することが必要である」という考えのもと、**地域のなかで資源を循環させる農業や、新規就農や事業継承など農業を未来につないでいく取り組みも行っています。**

グループの農業法人である「てんぽ印(じるし)」では、新規就農者で有機の大規模農場を運営しており、農業体験や就農に向けた研修も行っています。また、農業団体としては珍しく福祉事業も行っており、グループ会社「百笑一輝」では、学童保育「おれんじクラブ」から、通所介護や有料老人ホーム、グループホームなどの事業を展開するなど、環境保全型農業をはじめとして持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

生きる力を育む「子育て環境」

海と山の豊かな自然のなかで、地域の人たちに見守られながらのびのびと遊べる明浜は、子どもたちが育っていく場所としてこれ以上ないほどの素晴らしい環境。豊かな感受性や創造性、他人に対するやさしさや思いやりなど、生きるために必要な力を育んでくれます。

行政・民間による子育てサポートも充実!

[学校の数]…2校(西予市立明浜小学校・西予市立明浜中学校)
[医療施設の数]…4施設(あじき医院・田之浜あじき医院・狩江あじき医院・たんぽぽ俵津診療所)



farming chart 就農チャート

1997年	転職し、松本農園の後継者となる
2007年	独自で販路を開拓
2011年	施設整備への支援を活用し、無加温ハウスを整備。「浜のまどんな」の栽培開始(出荷は2014年~)
2013年	甘平の栽培開始(出荷は2016年~)



農業体験について 具体的な支援策

長期
LONG

あけはまで就農しませんか事業

体験の次は実践研修にチャレンジを
明浜町に住み込んで、より具体的な農業技術と経営ノウハウを習得しませんか?
さまざまな支援制度も完備。独立就農を目指しましょう!

短期
SHORT

あけはまで農業体験しませんか事業

就農へのファーストステップ

明浜町に住んで農業をやってみたい、柑橘栽培に 관심があるなど、興味のある方は、まずは農業体験で柑橘農家のイロハを学んでみませんか?

対象

- 明浜地域で就農を希望する18歳以上
55歳未満の方

期間

- 長期(6ヶ月～最大2年間)



研修生には家賃の補助を支給します!

- 研修期間に応じて、家賃月額の1/2(上限2万円、最大2年間)

サポート体制 Support system

- 柑橘の栽培技術指導や研修会の開催、明浜町での生活や地域との交流のバックアップ、自作園地の取得や、倉庫、機械の継承、住居の取得など、就農・定住へ向けた具体的で充実したサポートが受けられます。
- 柑橘農家として独立したあつきには、新規就農者へ上限1千万円の補助対象事業費に対して4分の3の支援が受けられる「新規就農者育成総合対策(経営発展支援事業・経営開始資金)」や、住宅改修にあたり経費の2/3または200万円(子育て世代は400万円)の補助を受けられる「西予市移住者住宅改修支援事業」など、さまざまな支援があります。



事業の流れ



短期
SHORT

あけはまで農業体験しませんか事業

就農へのファーストステップ

明浜町に住んで農業をやってみたい、柑橘栽培に 관심があるなど、興味のある方は、まずは農業体験で柑橘農家のイロハを学んでみませんか?

対象

- 柑橘農業に关心があり、明浜地域で就農を希望する方
- 18歳以上55歳未満で南予地域に住所を有していない方

期間

- 5日間／最大3回申請可能。柑橘の生産現場および明浜地区の雰囲気を現地で感じていただけます。
- 10日間／就農に必要な営農技術の習得を目指します。

参加される方には研修費が支給されます!

- 5日間の柑橘農業体験に対して… 3万円(最大3シーズン)
- 10日間の柑橘農業体験に対して… 6万円



事業の流れ



明浜町で就農を目指す方を支援します！

新たに農業を始めたい

1.就農相談

就農までの流れを確認
農業のイメージを具体化

サポート内容

[相談先]

西予市移住交流センター／西予市・生産者等
・農業体験の案内　・宿泊先の提案
・農家の調整　　・支援事業の案内

2.農業体験

農業体験にて、農業と明浜町を体験!
就農研修へ繋ぐステップ!

✓対象者

明浜町で就農を希望する18歳から55歳未満の方

✓体験内容

5日間、10日間の2コースで受入れ

✓支援内容

あけはまで農業体験しませんか事業

・5日間の農業体験に対して3万円を助成
・10日間の農業体験に対して6万円を助成

サポート内容

農業体験から実践研修へ繋ぐためのサポート

- ・次シーズンの農業体験案内
- ・就農研修の案内
- ・就農へのヒアリング
- ・宿泊施設の案内

3.就農研修

就農研修にて、農業の知識、技術、経営ノウハウを学び、独立就農を目指します！

✓対象者

明浜町で就農を希望する18歳から55歳未満の方

✓支援内容

あけはまで就農しませんか事業

家賃支援:家賃月額1/2(上限額2万円)

西予市移住者住宅改修支援事業

住宅改修補助:補助対象経費の2/3または200万円(子育て世代にあっては400万円)のいずれか低い額

✓活動内容

期間:6ヶ月から2年間

西予市移住定住促進空き家活用住宅事業者

空き家を所有者から借り上げて整備し、西予市へ移住定住を希望する者に貸し出す

サポート内容

就農・定住へ向けたサポート

- ・地域の相談員が栽培技術、生活、地域との交流をバックアップ
- ・自作園地の取得
- ・倉庫、機械の継承
- ・住居の取得(空き家活用)
- ・研修会の開催

就農の意思が固まれば「新規就農者育成総合対策」を案内いたします。

4.独立就農

いよいよ就農のスタートです。一人前の柑橘生産者を目指します！

✓支援内容

新規就農者育成総合対策

①経営発展支援事業(機械・施設等が対象)

支援額:補助対象事業上限1,000万円

(②)の交付対象者は上限500万円)

②経営開始資金

支援額:12.5万円/月(150万円/年)×最長3年間

西予市移住者住宅改修支援事業

住宅改修補助:補助対象経費の2/3または200万円(子育て世代にあっては400万円)のいずれか低い額

経営継承・発展等支援事業

【中心的経営体等の後継者】

担い手から経営継承する場合に100万円を支援

西予市移住定住促進空き家活用住宅事業

空き家を所有者から借り上げて整備し、西予市へ移住定住を希望する者に貸し出す

サポート内容

就農後のサポート

- ・研修会の開催
- ・地域の相談員が引き続き、技術、生活、地域との交流をバックアップ
- ・自作園地の取得
- ・倉庫、機械の継承

■西予市明浜町へのアクセス所要時間



松山IC



約60分

西予宇和IC



約40分

西予市明浜支所